

# 頻発する土砂災害について

近年の地球温暖化に伴う天候異常により、観測史上最大となる降雨が頻発し、洪水だけでなく土砂災害による大きな被害の発生が心配されています。今後の梅雨や台風シーズンに向け、土砂災害に関する基礎知識として以下の内容を参考にさせていただけると幸いです。

## 1 土砂災害とは



大雨が降ったりして、山や住宅地にある急な斜面が崩れて、土や石や岩が雨水と一緒に流れて家や田畑などに襲いかかってくるのが、**土砂災害**です。

土砂災害は、大きく3種類に分けることができます。



### ①がけ崩れ

急な斜面が崩れることをいいます。大雨の時に、一瞬のうちに起こることが多いため、家が壊れて、人が逃げ遅れて亡くなることもあります。



### ③地すべり

斜面が広い範囲にわたって動くものです。家や田畑なども一緒に地面が大きな塊のまま動きます。



### ②土石流

山から崩れてきた土や石や岩が水と一緒に流れて、ものすごい勢いで流れ落ちてくるもので、太い木も根こそぎ倒して一緒に流してしまいます。

## 2 異常気象と土砂災害



近年は地球温暖化の影響を受けて**局地的大雨(ゲリラ豪雨)**が増え、土砂災害が起りやすくなっています。そのため、過去に災害の発生していない箇所でも起きたり、過去に大きな規模の災害が起こる可能性が高くなっています。日野郡でも、平成25年7月には、江尾で1時間に87ミリの豪雨を観測し、久連地区では人家に土砂が流入するなどの被害が発生しています。



江府町久連(平成25年7月)

## 3 土砂災害から守る施設

土砂災害から人命や財産を保全するために様々な対策工事を行っています。しかし、災害発生の可能性がある箇所が至るところにあるため、それら全部に災害を防ぐ施設を造るには、長い時間と多額の費用を必要とします。まずは、土砂災害から身を守るために危険なところから避難しましょう。



砂防えん堤

## 4 身を守るために知っておきたいこと



### (1)いつ危険なのか



土砂災害の危険性がきわめて高くなった時に発表される「**土砂災害警戒情報**」を知っておきましょう。土砂災害警戒情報はテレビ・ラジオ・携帯電話・インターネットなどで広く多くの方へ情報提供されています。また、あんしんトリピーメールで自動受信したり、ケーブルテレビでも確認できます。

NHK鳥取放送局の地上デジタル放送(データ放送)では、現在の土砂災害発生の危険度を確認できます。

### (2)土砂災害のまえぶれ



土砂災害では、発生する前に**兆現象(まえぶれ)**があるといわれています。もし、それらの現象に気がついたときは、できるだけ早く安全な場所に避難しましょう。

### ①がけ崩れ

- ・がけにひび割れができる
- ・小石が転がり始める
- ・樹木の異常な音が出る
- ・がけから急に水がわき出る
- ・異常な臭いにおいがする



### ②土石流

- ・川が濁り、樹木(なまの木)が流れる。
- ・雨が降り続けているのに、川の水が減っている。
- ・山鳴りが聞こえる。
- ・異常な臭いにおいがする。



## 5 どこが危険なのか



日野郡を含め鳥取県では、土砂災害が発生した時に被害の及ぶ可能性のある範囲を**土砂災害警戒区域(イエロー区域)**、特に危険な範囲を**土砂災害特別警戒区域(レッド区域)**として指定しています。大分県中津市では、平成30年4月、集落裏の斜面が、高さ約100m、幅約200mにわたって崩落し、6名の方が亡くなりました。この斜面は、土砂災害警戒区域(イエロー区域)に指定されていました。



\*鳥取県ホームページにおいて、「とっとりWebマップ」で検索すれば、確認できます。

町から配布されている土砂災害のハザードマップを確認し、日頃から身の周りの危険な場所を確かめておきましょう。



お住まいの土砂災害危険度情報を表示



大分県中津市 (平成30年4月)

問 日野県土整備局建設総務課計画調査室  
電話: 085917212058  
FAX: 085917211398